

## ハンガリーOBUDA大学グローバルPBL[派遣]

実施期間	実施国	共同実施機関	対象	参加者	本学担当教員
2024年03月01日 ~2024年03月12日	ハンガリー	オーブダ大学	<ul style="list-style-type: none"> <li>電気工学科</li> <li>学部2年生、学部3年生、学部4年生</li> </ul>	(芝浦工業大学) 学生8名、学生バイト1名、 教員2名 (オーブダ大学) 学生11名、学生バイト1名、 教員1名、職員3名	吉見 卓(電気工学科) 安村 禎明(電気工学科)



gPBL参加者

コロナ禍後、昨年よりハンガリー・ブダペスト、オーブダ大学におけるロボット、Virtual Reality、機械学習に関するグローバルPBLを再開した。今回2回目(コロナ禍前を含めると4回目)となる本プログラムは、電気工学科の2年生1名、3年生5名、4年生2名の計8名が参加し、TA1名、引率教員2名(教員は前半後半で分担して対応)とともに、2月28日(水)から3月14日(木)までの15日間(現地13泊)で実施した。今回は、行きのフィンランド、ヘルシンキ空港での航空機乗り継ぎ時間が約12時間となったため、この機会を利用して、ヘルシンキ市内のミニフィールドトリップも実施した。現地到着後は、翌日午前にプログラム実施大学にてオープニングセレモニーを開催して現地教員および先方大学の学生達との顔合わせを行った後、午後は半日のフィールドトリップで、市内見学を行った。その後、土日の休日を挟んで、翌月曜日からワーキングデーが始まり、全員で機械学習を用いた画像による対象物認識とロボットアームによる把持・運搬の課題に取り組んだ。最終日には、今回取り組んだ課題や滞在期間中にブダペストで経験した内容等を各自がPPTに取り纏め、英語にてプレゼンテーションを行った。最後に、クロージングセレモニーにて参加者全員に修了証が授与された。今回のgPBLは、参加者が現地受入れ教員の研究室において、研究室活動を体験することが主目的である。また、関連他研究室の見学等を通して、当該分野の見識を深めることができた。さらに、今回は参加者の半数以上が海外渡航が初めてとのことで、英語を使ったコミュニケーションや欧州の文化への接触を通して、グローバルな世界を身近に感じることができ、参加者のグローバルマインド醸成に大いに役立ったと思われる。



ワーキング



フィールドトリップ ブダペスト



フィールドトリップ ヘルシンキ



ディナー(ブダペスト)



ランチ(ヘルシンキ)



フェアウェルパーティー